

開館30周年記念

岸田 劉 生 展

—— 実在の神秘、
その謎を追う ——



Ryusei Kishida
Search for a Secret, Mysteries of existence

2018.9.15 | 土 | → 11.4 | 日 |

休館日=月曜日

※9/17 (月・祝)、24 (月・休)、10/8 (月・祝) は開館、9/18 (火)、25 (火)、10/9 (火) は休館
開館時間=9:30~17:00 ※10/5 (金)、6 (土)、26 (金)、27 (土) は19:00まで開館

観覧料=一般 1,000円 (800円) 高校生以下無料 ※() 内は前売りまたは20名以上の団体料金

※前売り券は、ふくやま美術館ミュージアムショップ、JR福山駅観光案内所、

ローソンチケット [Lコード: 61627] など 8月16日 (木) から9月14日 (金) まで販売。

※前売り販売所は、ふくやま美術館ホームページまたはふくやま美術館にお問い合わせください。

主催=(公財)ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま美術館、福山市、中国新聞備後本社、山陽新聞社

※会期中一部展示替えを行います。

《二人麗子図 (童女飾髪図)》1922年 泉屋博古館分館



FUKUYAMA MUSEUM OF ART

ふくやま美術館

30th Anniversary

広島県福山市西町二丁目4番3号 電話084-932-2345 JR福山駅北口から西へ400m

岸田劉生(1891-1929)は、日本近代美術史上、最も個性的な画家のひとりです。38年という短い生涯の中で、日本の近代美術にとって根本的な課題であった、西洋の新しい表現と日本の伝統美術との相克に果敢に立ち向かいました。

劉生は、1891(明治24)年、明治の傑物である岸田吟香の子として文明開化が進む銀座に生まれます。17歳で画家になることを決意し、白馬会葵橋洋画研究所へ入門、その2年後には文展に入選するなど、早くからその才能の片鱗を見せました。はじめ外光派風の作品を制作していた劉生ですが、1911(明治44)年、海外の最新の芸術を紹介していた雑誌『白樺』と出会い、その作風は一変します。ゴッホやセザンヌなどの西洋近代絵画の影響を強く受けた作品を制作しました。しかしながら、数年後には「近代的な道」から離れ、デュラやファン・エイクの影響を通り抜け、対象の实在感を細密に描写し、「内なる美」を描き出そうとする独自の写実表現を追求します。さらに、1919(大正8)年の奈良と京都への旅行をきっかけとして東洋美術に開眼し、中国の宋元画や近世初期風俗画などを収集しながら、自身の作品にも「写実以上」の「深い美」や「卑近美」という独特な表現を、日本画や油彩画で求めるようになりました。

本展では、ポスト印象派の影響を受けた《B. L.の肖像(バーナード・リーチ像)》、「實在の神秘」を表現した《壺の上に林檎が載って在る》、東洋美術のミステリアスな表現を追求した《二人麗子図(童女飾髪図)》など、各時代の代表作を含む94点を6章に分け、この大正期の異才の全貌を探ります。

◎は前期展示(10月14日まで) ○は後期展示(10月16日から)



《橋》1909年 ふくやま美術館



《虎の門風景》1912年 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館



《高須光治君の肖像》1915年 豊橋市美術館



《B.L.の肖像(バーナード・リーチ像)》1913年 東京国立近代美術館



《村娘之図》1919年 下関市立美術館○



《壺の上に林檎が載って在る》1916年 東京国立近代美術館



《麗子肖像(麗子五歳之像)》1918年 東京国立近代美術館



《冬瓜葡萄図》1927年 岡山県立美術館



《静物(湯呑と茶碗と林檎三つ)》1917年 大阪新美術館建設準備室



《麗子十六歳之像》1929年 ふくやま美術館



《赤土と草(赤土と草の道)》1915年 浜松市美術館



《初夏の小路》1917年 下関市立美術館



《冬瓜茄子之図》1926年 三重県立美術館○

関連イベント

開館 30 周年記念 日本近代美術講座

時 間：14:00～15:30

定 員：50名(当日先着順) ※聴講無料

会 場：ふくやま美術館 2 階 講義室

●第1回「日本近代美術と福山」

日 時：9月22日(土)

講 師：大前 勝信(当館学芸課長)

●第2回「日本近代美術における西洋美術受容 -岸田劉生を中心に-」

日 時：10月13日(土)

講 師：鈴木 一生(本展担当者、当館学芸員)

●第3回「岸田劉生が求めた麗子像の理想」

日 時：10月20日(土)

講 師：谷藤 史彦(本展企画者、当館相談員)

ワークショップ 短期講座 A

「じぶん流静物画を描いて壁に飾りましょう」

鉛筆、アクリル絵具、水彩絵具、パステルなどの画材を使って、自らの個性や感性をとおり、様々な表現で描くことで、劉生の多彩な静物画表現を探究していきます。

日 時：10月6日(土) 10:00～17:00

講 師：高地 秀明(広島大学名誉教授、画家)

会 場：ふくやま美術館 2 階 デッサン室

受 講 料：2,500 円

対 象：高校生以上(制作経験は問わない)

定 員：22 名 ※応募者多数の場合は抽選

応募方法：ハガキまたは市HP電子申請コーナーに「講座名」「郵便番号」「住所」「名前」「電話番号」を明記のうえ下記宛先まで。

宛 先：〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号

ふくやま美術館「短期実技講座A」係

応募締切：9月23日(日) 必着

ギャラリートーク

日 時：9月29日(土)、10月7日(日) 各日 14:00～15:00

会 場：ふくやま美術館 1 階 企画展示室

講 師：当館担当学芸員 ※特別展観覧券が必要

イブニング・ギャラリートーク

日 時：10月5日(金)、10月27日(土) 各日 17:30～18:30

会 場：ふくやま美術館 1 階 企画展示室

講 師：当館担当学芸員 ※特別展観覧券が必要

タイアップ映画上映(協力：フューレック)

「細雪」(1983年)

劉生と同時代を生きた谷崎潤一郎の同名小説を市川崑が映画化した名作。吉永小百合、岸恵子などが出演した話題作をもう一度。

日 時：10月6日(土)、7日(日) 各日 10:00～

会 場：福山駅前シネマモード(問い合わせ先：084-923-6800)

会期中にこの映画の半券をお持ちいただくと割引料金(1,000円→800円)で入場できます。

岸田劉生展の半券で、映画を割引料金(1,000円)で鑑賞できます。

もう1つの劉生展

もう1点の《麗子十六歳之像》が岡山・高梁市で見られるチャンス!

「画家 岸田劉生の軌跡

—油彩画、装丁画、水彩画などを中心に」展

会 期：2018年10月6日(土)～2019年1月14日(月)

会 場：高梁市成羽美術館

岡山県高梁市成羽町下原 1068-3

TEL：0866-42-4455

お得な相互割引があります。会期中に上記の展覧会の半券をお持ちいただくと割引料金(1,000円→800円)で入場できます。本展の半券で、上記の展覧会が割引料金で入場できます。



《麗子十六歳之像》1929年 笠間市立美術館

次回特別展予告

「筑前左文字の名刀」

2018年11月11日(日)～12月9日(日)



【交通案内】

- ・JR福山駅北口から西へ400m
- ・山陽自動車道福山東インターから車で20分
- ・駐車場 68台(有料)

【お問い合わせ】ふくやま美術館

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号
TEL 084-932-2345 FAX 084-932-2347
http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/
Twitter: @fukuyama_bi